

# 第1回 学生座談会～学部4年生の夏編～ 社会建設工学科ってどんなところ？



学生座談会第1弾！「社会建設工学科（社建）ってどんなところ？」を主題に、山口大学での学生生活について教えてもらいました。

## 「社会建設工学科」の印象は？

図面を描いたり、パソコンでCAD使ったり、座学が中心だと思ってたから、こんなに実験・実習があると思ってなかった。みんなはなんで社建を選んだの？

就職できそうだったから！パンフレットか何かに、就職率ほぼ100%って書いてあった気がする。就職できるならいいな、と思って選んだかな。

私は大きいものが造りたくて、それなら建築か建設・土木だな、ってところから考えた。

## いつ頃からそういう考えを持ってた？

保育園とか小学校の頃から工作が好きで、ものづくりっていう点で、土木とか建築がいいなあって。

僕が土木を選んだのは、地元が土砂災害にあったのが大きい。その土砂災害があるまでは、幼稚園の先生目指してたんだよね。

そうなんだ！！

土砂災害を経験してからは、世の中の役に立つなら、土木を通じて社会に出たい！って考えるようになって社建を選んだ。けど、入ってみたら周りは橋とかダムとか、インフラ構造物に興味がある子が多くて、最初は「入るとこ間違えたかな？」って思ったよ。

社建は扱う対象がすごく多いからね。

そうだね。今はいろんな分野を幅広く学べる学科だな、って印象かな。

## 社建に入学した！っていつ頃実感した？

1年生の頃は本当に実感なかった、教養とか全学共通教育が基本だよな。

2年生でキャンパスを移った時に実感したかな。

確かに。常盤キャンパスで実験棟を見て、先輩たちが作業着でコンクリート練ってるの見た時は「来た！」って思った。

私は専門科目の座学を初めて受けた時かな。最初の科目が水理学で、専門性の高い講義を受けて実感した。

高校までの物理とか数学を理解できないと、公式の意味が理解できなくて、より難しいって思うよね。

## キャンパスを移動するっていつ知った？

進路を山口大学に決めた時に、高校の先生から教えてもらったから、入学より前に知ってたよ。

僕は高校卒業の2か月前くらいに、高校の先生に教えてもらった。入試もオープンキャンパスも常盤キャンパスだったから、常盤キャンパスだけだと思ってた！

キャンパス移動があるって聞いてたから、吉田キャンパスでの家は1年後の引っ越しを想定して決めたな。

## 引っ越しの情報はどう集めてた？

学生寮に住んでたから、寮の先輩たちが教えてくれた。その時に、「入学して一か月くらいしたら常盤キャンパスでの家を決めた方がいいよ」って言われてびっくりした。

ゴールデンウィークには決めた方がいいよ、って言われたよね。

指示通りにしたけど、秋ごろに決めてる子もいたから、そこまで急がなくてもいいのかもしれないね。

## 寮ってどんなところ？

個室で、十畳と六畳のタイプがあったはず。風呂・トイレもそれぞれに付いている！

寮生だけで運営する学祭のようなものがあって、運営委員に入ってる子もいたよね。

申込みは2月頃だった気がする、結構ギリギリだったよね。

寮は大学から近いから、近さ重視の私にとってはいい条件。一年のために家を探すのが面倒だったのもあるかな。

あと、家具家電は付いてないから、自分で揃えて、2年生の時に一緒に持ってきた！

廊下の音は聞こえるね、特に夜中とか。よっぽど気になる人は気を付けた方がいいかも。

生活音がうるさい自覚がある人はWin-winだね。

そうだね、知らない寮生同士で仲良くなったりもしてたから、友達の輪は広げられると思う。



## 山口大学に入学した入試形態は？



実施順でいくと僕がAO入試で一番早かったかな。高校2年生の時に入試形態を聞いて、自分が得意な内容の面接と小テストがあるAO入試に専念した。受験する大学は決めてなかったけど、AO入試があるところ、とは決めて準備してたよ。



用意周到だね！



次は推薦入試だった私だね。センター試験（現共通テスト）と面接がある推薦Ⅱ型だった。応募時期がセンター試験受ける前だったから、早い段階で判断しないといけなかったかな。



私は一般の前期試験だからノーマルな入試形態だね。高校3年生の夏ごろまで、特に志望校を絞らずに筆記の勉強をしたから、それを活かせる入試、ってことで一般しか考えてなかったな。



僕は後期入試で、二次試験は筆記の数学や物理ではなく小論文だった。小論文というよりは図表の読み取りのような形式だったから、過去問を見て勉強してた！



前期試験用の勉強と、後期試験用の勉強をしないといけないよね。どうやって配分してたの？



後期は、前期までの勉強をそのまま活かせるところ、っていう選び方をしたよ。



私も質問！第一志望は違うところだった、っていう後悔とか悔しさとか、やっぱりあっちが良かったなみたいな。そういう思いはいつ消化したの？



結構切り替えは早かったよ。入学したら、前期も後期もAOも推薦も関係ないから、みんなと同じスタートラインに立とう、って思ってたかな。



前期も同じような土木系の学科を志望してたの？



うん、だから結局今やりたいことができてるし、どの大学でもしたい勉強ができる所を選ぶべきなんだって今はすごく思ってるよ。

## これぞ社建！の印象が強い講義は？



ものづくり創成実習Ⅰ・Ⅱじゃないかな？



たしかに印象に残ってるね。2年生前期のⅠでは、自分たちで土の配合を決めて締め固めた「ソイルタワー」の強さを調べるグループ学習があった。



二回くらいつくったよね、一回目の配合と結果から改善点を見つけて再挑戦した！混ざりが悪かったり、締め固めが緩いと崩れる場所が変わったりして、色んな崩れ方があったね。



Ⅰの後半は、バルサ材（細い木材）を使って橋の模型をつくって、おもりを吊るした時の強度や、美観を競う「ブリッジコンテスト」があった。車が通る想定で、模型の幅とか高さ制限があるけど、材料の使用量とかデザインは自由だったね。



一回目の講義で構造力学の復習があって、力のかかり方とかの説明を受けた上で自分でデザインした。



↑ソイルタワーの締め固め



↑ブリッジコンテストの載荷実験



2年生後期のⅡでは、前半に全員でCADの基本操作を習って、後半は学籍番号の偶数・奇数に分かれて、それぞれ違う条件で擁壁を設計して、CADを使って図面を描いたね。



すごくおもしろかった！この講義のあとにインターンシップに行ったんだけど、インターン先で同じCADソフトを使っていて、将来の仕事に直結してるって感じて嬉しかったな。

## 研究室配属はいつ頃？



「早期配属」が3年生の9月末ごろ。早期配属できる条件が、僕たちの時は3年生前期までの必修科目の単位をすべて取得していることと、TOEIC350点以上だったね。



「通常配属」は3年生の3月末ごろだね。学部4年生の卒業論文発表会を聞いたりしてから決めたよ。



どちらの配属でも、それまでの成績に基づく「優先配属」があるから、きちんと勉強していると行きたい研究室に行きやすいよね。

## 研究室はどうやって決めた？



ゼネコンに就職したくて、関連する研究ができる研究室か、やってみたいことができる研究室かすごく悩んだ。最終的に、後者の考えを優先して、研究内容がおもしろそう、と思った都市・社会システム工学研究室に決めた！



僕は志望動機でもある、土砂災害に関する研究ができる研究室に行きたかった。3年生前期の研究室紹介で、地盤工学研究室が土石流を発生させる装置を使った研究を紹介していて、この研究室が一番やりたいことに合っていると思って決めたよ。



もともと環境に関する研究と、海外に興味があった。環境衛生工学研究室はインドネシアでも研究をしてると知って、1年生の時からはほぼ決めていた！ただ、学部生の講義を経てコンクリートも面白そう、地盤もいいな、とか思いつつ、結局戻ってきた感じだね。



私は講義を受けて、構造力学が分かりやすかった、想像しやすかった、っていうところと、やっぱりものづくりがしたくて土木構造学研究室に。「ブリッジコンテスト」で橋に興味が出て、オープンラボっていう研究室を訪問できる期間に、橋に関する研究室をいくつか見学して、自分の生活リズムに合っているな、と思って決めたかな。



オープンラボ（3年生後期）の様子



## 「社会建設工学コース」と「東アジア国際コース」、いつ選択？

1年生の後期が終了するくらい時期に選択した。

私たちの学年は、東アジア国際コースの定員に対して志望人数が多かったから、TOEICの点順で選抜があったよね。

コースが違うと講義を担当する教員も違うから、ほとんど会わなくなるよね。

東アジア国際コースは、英語関係の必修科目があるから、選択科目が少ない分必修科目が多かった。

社会建設工学コースは3年生後期くらいから選択科目が開講されて、科目数が増えたなあ。

プレゼンテーションがある講義が印象に残ってる！

海外の土木にまつわる災害とかをグループごとにて調べて、英語で発表したね。プレゼンの構成とか、作り方も教えてもらった。

発表は全員がしゃべるように割り振ったね。担当箇所を決めて、背景、内容、まとめ、とか。

ちなみに、自分たちがどんな発表したかおぼえてる？

同じグループだったんだけど、バングラデシュの交通渋滞を解消するために、鉄道を高架化する対策を調べて、そのメリットとかを話した気がする。

結構ちゃんとおぼえてるんだね！

## コースはどうやって決めた？

友達とどっちのコース行く？って相談したりもしたけど、その時点でもう社会建設工学コースって決めてたかな。

私は英語を勉強したくて東アジア国際コースに。英語が得意なわけではないけど、やっておきたいな、って感じ。

分かる、英語に触れておきたいよね。2、3年やらなかったらなにもわからなくなるもんね。

## 海外渡航はした？

9月に調査研究でインドネシアに渡航予定！研究室全員で渡航して、現地調査をする予定だよ。

旅費とかどうするの？

私は助成金に申請して通ったから、それを使うよ。1週間くらい滞在するかな。



## 今後の進路は？

僕たち2人は就職で、

僕たちは大学院に進学。

どうして大学院に進もうって思ったの？

長い人生のなかで、あと2年くらい研究とかしてみたいな、って気持ちで進学を決めたよ。

僕は国際学会に出てみたい、っていうところが一番大きいかな。ただ、一人で自立したいな、って思いもあるから働きたい気持ちもあるな。2人はどうやって就職に決めたの？

建設の現場監督をやりたいと思って、インターンシップで行った現場で、経験しないとわからないことも多い、って話を聞いて、早く現場に行きたかったから就職に決めたよ。

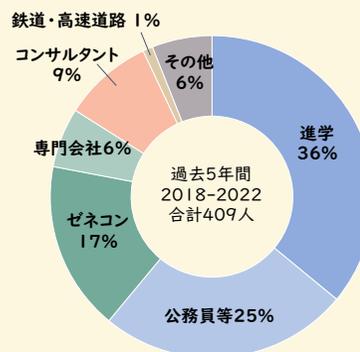
私は大学院進学も迷ったけど、経験を積みたかったのと、今後のライフイベントを考えたときに20代の2年間って結構大事だな、って思ったから就職にした。

就職先の業種って色々あるけど、どうやって決めたの？

研究室の指導教員に相談して、自分がやりたいことと、合っているところを考えて橋梁メーカーを選んだよ。設計、製作、施工まで一貫して行っていて、一連の流れを知れる、っていうところが魅力に感じた！

みなさん、貴重なお話をありがとうございました！  
第二弾も近日公開予定です。お楽しみに！  
(2023年7月時点での情報です)

過去5年間の卒業生の進路



過去5年間の修了生の進路

